

第 1 5 回厚生文教常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和 3 年 1 1 月 1 5 日 (月曜)		9 時 0 0 分 開会
	休憩 9:03-04 9:05-14:00 14:20-21		
	1 4 時 2 8 分 閉会		
	休憩時間：4 時間 5 7 分		会議時間：0 時間 3 1 分
会議場所	役場 3 階 委員会室		
出席委員 氏 名	委員長	渡辺洋一郎	委員 堀切 忠
	副委員長	黒田 栄継	委員 橋本 和仁
	委員	常通 直人	
	委員	柴田 正博	
	委員	正村紀美子	議長 早苗 豊
説明員	教育推進課長	有澤 勝昭	
	同課長補佐	清末 有二	
	同教育推進係長	橋本 岳	
参考人			
欠席委員 氏 名	委員 西尾 一則		
事務局職員	事務局長 安田 敦史	総務係主査 上田瑞紀	
<p>『会議に付した事件と会議結果など』</p> <p>1 開 会 委員長が開会を告げ、西尾委員欠席の報告の後、事務局から本日の委員会の日程を説明する。</p> <p>2 議 件 (1) 調査事項</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 厚生文教常任委員会所管施設調査について 資料 1</p> <p style="margin-left: 40px;">・委員長：施設調査実施の旨を告げ、休憩とする。</p> <p style="margin-left: 20px;">イ G I G A スクール構想環境整備事業について 資料 2</p> <p style="margin-left: 40px;">・委員長：担当課の説明を求める。</p> <p style="margin-left: 40px;">・教育推進課長：事業の概要説明<前回（8月20日）委員会以降の説明>。</p> <p style="margin-left: 40px;">・教育推進係長：資料説明（「目的」、「進捗状況（9～11月）」、「平常時の家庭学習に係るタブレットの持ち帰りについて」、「スケジュール」について説明）</p> <p style="margin-left: 40px;">・委員長：意見・質疑はないか？</p> <p style="margin-left: 40px;">・常通委員：大型提示装置の件について、3か年計画の全体像、次回（12月）補正、</p>			

その後の整備の段階的計画は？

- ・係長：整備総数は全69台。導入済は22台。残は47台。そのうち16台を12月補正。その残りの導入計画は今後の内部協議。
 - ・常通委員：交付金がなくても町単費で導入しては？
 - ・課長：学校現場からも効果・効率的にも良い反応。可能であれば来年度予算で完備したい目標設定はある。
 - ・正村委員：タブレット持ち帰りについて伺う。児童・生徒の下校後における日常の活用の具体的想定とは？
 - ・課長補佐：検討チームで話題になっているのは、「AIドリル活用の家庭学習」、もうひとつは「ワークスペース（教師の提出課題に対する自主学習）」機能の活用。
 - ・正村委員：知識・技能に優れたタブレット導入は理解する。一方、教育の主体性という観点について、今後、新たに発生し得る主たる課題をどう捉えているか？また、その対応策についてどのように考えているのか？
 - ・課長補佐：ICT全体で言えば、思考力・主体性なども育む機能を備えている。AIドリル、パワーポイントなどは、その構成要素。それぞれの要素を、教育現場でのひとつの「武器」として特徴を有効に活用したい。
 - ・常通委員：Wi-Fiルーターの貸し出しについて、具体的な計画は？
 - ・課長：資料（「2」の「3」の3点目）に記載のとおり、各家庭において設置することが基本。ただし、就学援助制度適用世帯については、一定基準に基づき経費支援を考えている。
 - ・委員長：他にないか？
 - ・（意見・質疑なし）
 - ・委員長：以上で調査事項「イ」を終了する。
-
- ・委員長：自由討議を行う。まず最初に、調査事項「イ」についていかがか？
 - ・（意見・質疑なし）
 - ・委員長：今後の進捗状況を適宜確認し、必要に応じて調査を行うこととしたい。異議ないか？
 - ・（異議なし）
 - ・委員長：決定とする。
-
- ・委員長：次に調査事項「ア」について、施設調査の感想等をいかがか？
 - ・橋本委員：実際に現地調査し、とても有効・有意義であった。これまでの町の説明事項について、臨場感をもって理解できた。
 - ・堀切委員：教員の大変さを実感した。（システム導入後）軌道に乗るまでの導入期間は特に大変だろうと感じた。授業本体に入る前段の操作で苦慮している場面を見ることができ、実態を確認でき有効だった。
 - ・柴田委員：有効な新たな教育システムであることを実感した。電子黒板の早期導入等について、その必要性や緊急性についてもその温度が伝わってきた。
 - ・常通委員：想像を超える活用に驚いた。ただ、先生の負担や苦勞も感じ取れた。（教

員に対する) ボランティアなどのサポートがあると、その課題解決につながるような気がした。議会として関わっていける分野、場面を意識して取り組んでいくべきと感じた。

- ・正村委員：有意義な時間であった。数年後にデジタル教科書の導入も見据えると、先生の教材準備に係る負担軽減につながることも期待できた。子どもたちにとっては「調べると答えが出る」という簡易さに若干危惧する場面もあった。今後、懸念される事項として、子どもの数が減少していくこととハード整備をバランス良く取り組むことを意識しなければと感じた。
- ・黒田委員：各学科の教育と、機器の操作の両面が教員の役割になってくるが、これまでも、媒体こそ違えど背景は同様だったと感じる。新たなシステムを駆使した有効な授業の場面を直接見ることができ、衝撃を受ける現場状況だった。まだまだ、教育環境の技術も日進月歩となっていくので、それも見据えていくことが必須と感じた。今後は、教員の声を聴く場面も必要と感じた。
- ・渡辺委員長：私も同感である。新鮮かつ驚愕であり、議会としても運営手法などに学ぶべきと痛感した。一例で言えば、教材の充電に関する時間の解決方法。1台5分かかり、わずかな作業も量が増大だと短時間で終わらせる工夫が必要と感じた。また、長い目で見た時に、タブレットと生徒の顔(眼)との近さが気になった。

3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について

- ・委員長：次回委員会は、明日11月16日(火)9時30分としたい。異議ないか？
- ・(異議なし)
- ・委員長：異議なしと認め、決定する。

(2) その他

- ・委員長：「その他」で委員からないか？
- ・委員長：他にないか？
- ・委員長：事務局から？
- ・(なし)

以上をもって、厚生文教常任委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	名	議員		合計
------	-----	----	-------	---	----	--	----

令和3年11月15日

厚生文教常任委員会委員長 渡辺 洋一郎